11月8日(日曜日)「神の国はどこに？」

【新改訳 2017】

ルカ　17•20、21

「‥‥‥イエスは答えて言われた。『神の国は、人の目で認められるように来るものではありません。「そら、ここにある」とか、「あそこにある」とかいうようなものではありません。‥‥‥あなたがたのただ中にあるのです。』」

神の国は、基本的には神の支配や統治を意味することは何回か学びました。霊の領域のことですので肉眼では見えません。しかし、当時の人々も、見える世界と同様に考えており、神の国はいつ来るのかと尋ねたのでした。冒頭の句が、主イエスの答えでした。

神の国はあなたがたのただ中にある、とイエスは言われました。神の御子、イエス•キリストがおられ、いろいろな救いのみわざをなされているところに、すでに神の国があったのです。もちろん、やがて完全に成就する日が来ます。

今、私たちは、主と聖霊のお働きのうちに、みことばとみわざによって神の国を体験しているのです。「神の国は飲み食い

のことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです」（ローマ 14•17）。アーメン

～祈り～

主イエスさま。今、あなたによって、ここに神の国が到来していることを感謝いたします。そして、恵みの御国であることも感謝いたします。やがて完全に成就することも感謝いたします。

【学びのために】

ルカ 11 章 20 節、8 月 21 日マルコ 1 章 14 節、15 節参照。